

若者と地域をつなぐ

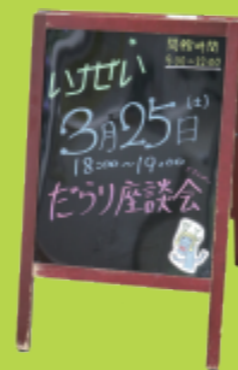
いけせい TIMES

特別号
Apr 2023



いけせい だらり座談会

2022年度最後のだらりトークでは「だらり座談会」を開催しました。当日は中高生から大学生世代の若者10名が集まり、この1年を振り返って、楽しかったことや来年度挑戦してみたいことなど、思い出と想いを共有しました。



2022年度楽しかったこと、やってみたこと

- ・修学旅行で夜ルールを破ってカップラーメンを食べたこと。(高2)
- ・いけせいで大道芸の練習中、別の利用者の演奏と合わせてコラボできたこと。(社会人)
- ・合唱コンクールで最優秀賞を獲った！(中2)
- ・いけせいでみんなでバスケットしたこと。(大学院)
- ・修学旅行でもらった金券で高級焼肉ランチを食べたこと。(高2)
- ・電車の写真を撮りに各地を巡ったこと。(高1)
- ・エアロバイクを買って“ながら運動”を始めたこと。(大3)

2023年度やってみたいこと、挑戦したいこと

- ・推しを作る！推しに会う！(中2)
- ・彼女を作るために積極的にアピールする(中1)
- ・5月の体育祭で、ダンスイベントを復活させたい！(高2)
- ・学生団体の活動を広げたい。(高1)
- ・富士フェスを頑張る！(中1)
- ・地元の下北沢で活動してみたい。だらりトークで外に出たい。(大3)
- ・来年受験に集中したいから、あまりやりたいことを考えない。(高2)
- ・ゴミ箱を設置してほしい。(中・高世代多数)

●だらりレポート!!

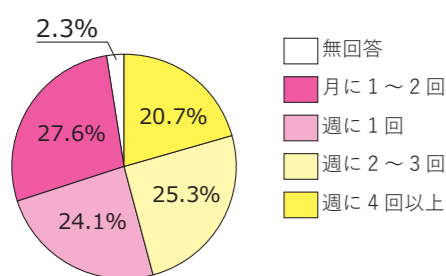
初参加の若者も、常連の若者も、それぞれ話す人の声に耳をかたむけ、共感し、反応し、思い思いに喋る。中には途中からゲームをし始めても、「そんな自由があつていいじゃない？」という温かい空気感があつて、会の最後にはちょっと真面目な議論もあつてそれがとても「だらりトークっぽいな」と思います。日常のほっとする場所を大切にしたいというみんなの想いがつまった会になりました。



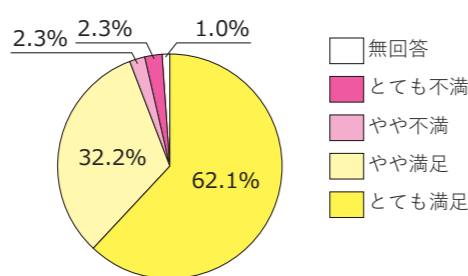
2022年度利用者アンケート

2022年10月25日～11月9日(11月5日・6日を除く14日間)にアンケートを行いました。回答数は87人でした。結果の一部を紹介します。

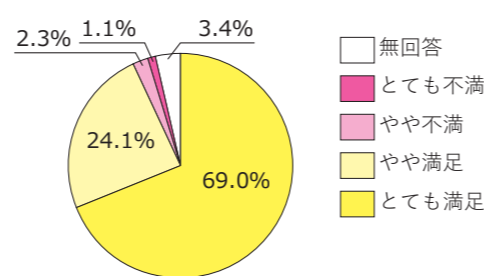
いけせいをどのくらい利用していますか？



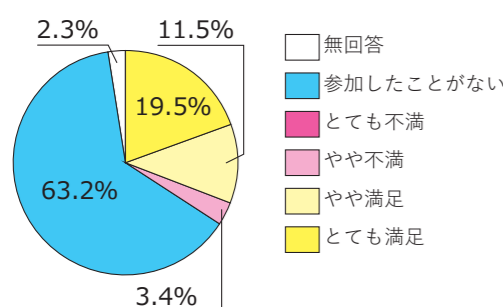
いけせいの設備や備品(本・楽器・遊具など)に満足していますか？



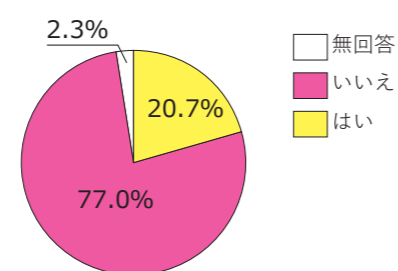
いけせいのスタッフについてどう思いますか？



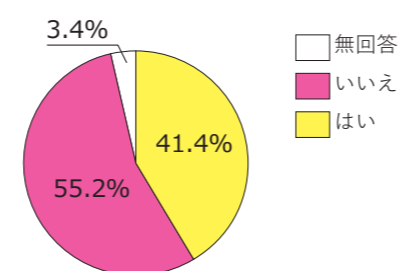
いけせいのイベントに満足していますか？



いけせいで自分のやりたいことを提案したことはありますか？



いけせいがきっかけで新しい友だちができましたか？

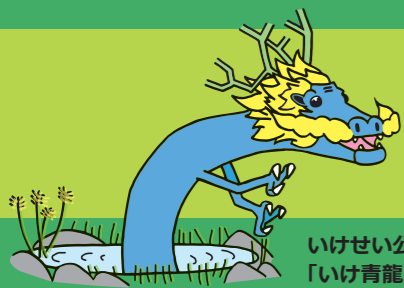


1人ひとりの「やりたい」が仲間・地域とつながる場へ

「2022年度いけせいで印象的だった出来事は？」の質問に、多くの若者が「屋外コート改修」を挙げるのではないのでしょうか。昨夏まで砂地だった屋外コートはバスケットボールや鬼ごっこなどをするには滑りやすく、多くの若者から「地面を滑らない素材に変えて欲しい」という意見が挙がっていました。使い方の工夫を試みる中、偶然にも社会貢献事業でコート整備地を探していたNBAゴールデンステイト・ウォリアーズに若者の声が届き、改修工事が実現しました。若者たちはこの出来事を通して、たとえすべてが実現しなくとも、想いや考えを発信し続けることが変化をもたらすという可能性を実感した

のではないのでしょうか。この他にも「名前が堅苦しい」「意見を言わない人も参加できる場にしたい」という思いから若者たちが名称を変えた「だらりトーク(旧名称:若者運営委員会)」など1人ひとりの想いが他の若者と繋がりが「やりたい」が少しずつ実現する1年になりました。2023年度も若者それぞれが自分らしく過ごしながら、1人ひとりの「やりたい」が仲間や地域とつながる場所を、若者・地域と一緒につくっていききたいと考えています。





いけせい公式キャラクター「いけせい龍」

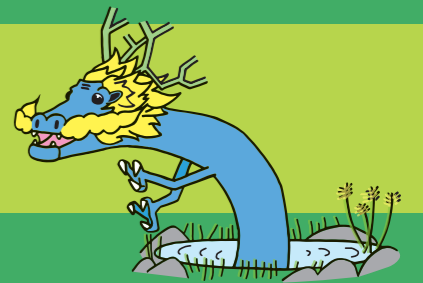
図表で見る

いけせい

2021年12月投票によって選ばれた「いけせい龍」。いけせいの顔として2022年度も活躍しました！

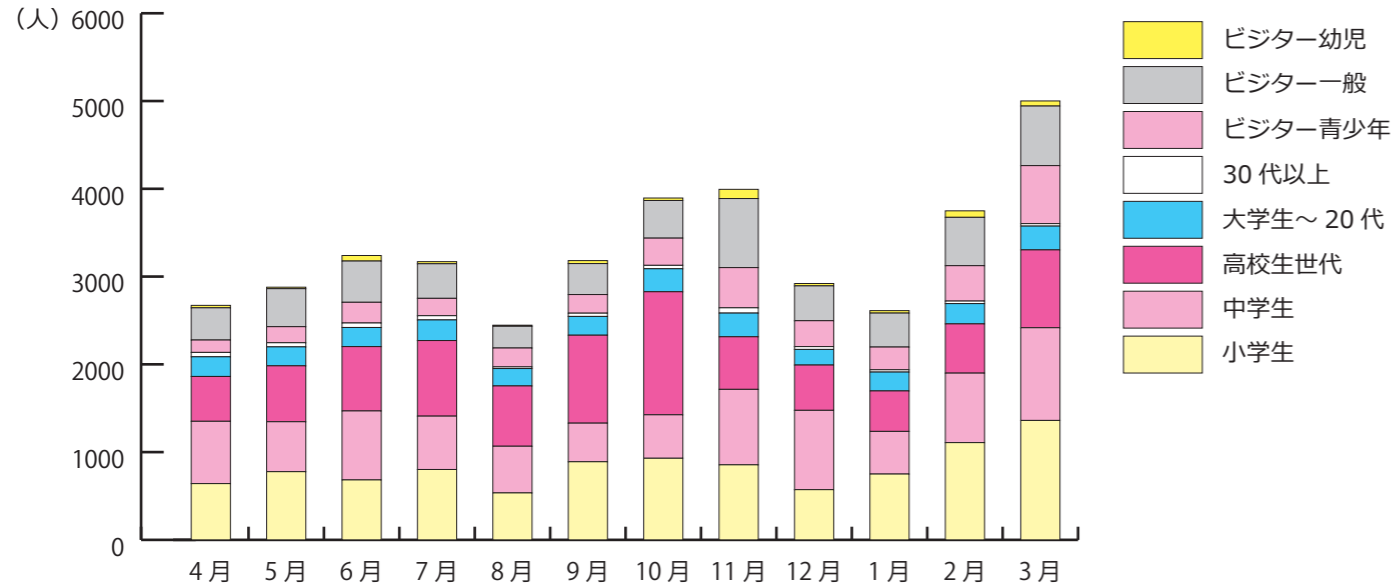


2022年4月 - 2023年3月



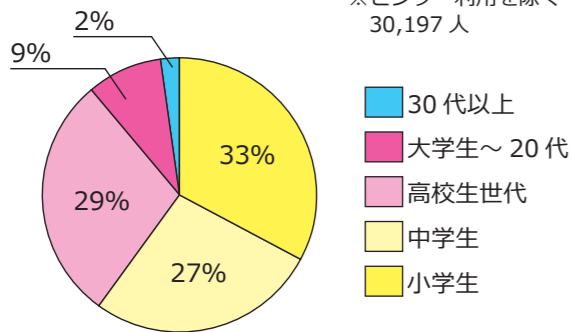
1. 月別のべ利用者の推移

年間のべ利用者数 40,569人 (前年度 34,040人)



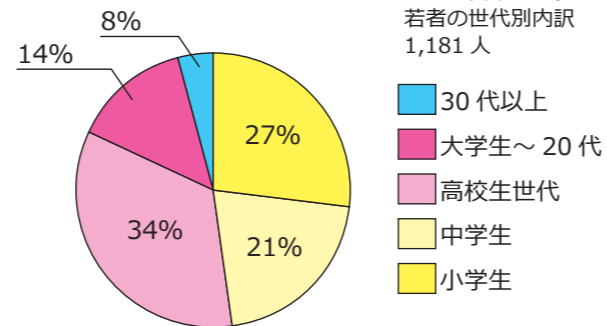
2. 利用者の年齢区分

※ビジター利用を除く 30,197人

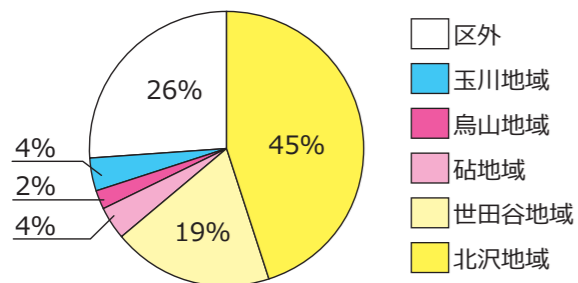


3. 新規登録者の年齢区分

※2022年度に登録した若者の世代別内訳 1,181人

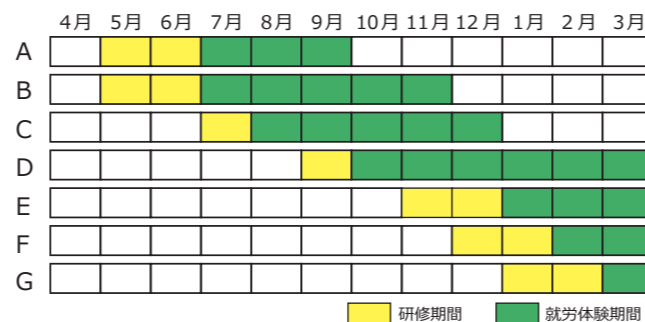


4. 新規登録者の居住地



5. P-work の参加状況

※就労体験・支援プログラム P-work では、1カ月の研修後、駄菓子などを販売する売店の運営を行った。



6. 学校別登録者数

※2022年度の新規登録者のうち、登録者数の多い学校と登録数

区分	学校名	登録者数	区分	学校名	登録者数
小学校	池之上	95	高等学校	筑波大附属駒場	128
	代沢	76		駒場東邦	59
	多聞	52		駒場学園	35
	下北沢	25		世田谷学園	29
	代田	9		東京学芸大附属	17
中学校	富士	55	大学 専門学校	東京	26
	駒場東邦	32		駒澤	5
	梅丘	24		早稲田	4
	筑波大附属駒場	20		明治	4
	三宿	16		成城	4

7. 若者の主体的な活動

プロジェクト	開催月	参加人数
麻雀交流会	4月	12人
星空カフェ	12月	24人
皆既月食観察	11月	30人
いけせい菜園部 (15回)	5~2月	47人
階段ギャラリー (3企画)	6~3月	6人
ひめっこアートフェスティバル	8月	91人
クリエイターワーク (7回)	4~2月	89人

ゴーゴーリーダーズ egg (28回)	4~3月	126人
青年文化祭 実行委員会 (9回)	8~10月	27人
青年文化祭	11月	749人
ダンスフェスティバル SETAGAYA キャスト会議 (5回)	1~3月	22人
ダンスフェスティバル SETAGAYA リハーサル	3月	205人
ダンスフェスティバル SETAGAYA	3月	377人
だらりトーク (11回)	4~2月	106人
だらり座談会	3月	10人

8. 音楽室・学習室 I・II・和室の利用件数

年間のべ利用件数 806件 (前年度 533件)
※公共機関の利用を除く

